

新年明けましておめでとうございます 今年も淡路ふくろうの郷をよろしく願っています



黄年 2010年が、みなさんにとって充実した素晴らしい一年となりますように。

ふくろう新聞

< 発行 >
特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
広報委員会
洲本市中川原町
中川原28番地1
TEL: 0799-25-8550
FAX: 0799-25-8551



生の真の意味を生きる

明けましておめでとうございます。二〇一〇年(平成22)が、みなさまのご多幸と、生きることを共に創造し、貢献できるふくろうの郷をめざして、職員一同、奮起する決意です。

昨年を象徴する漢字は「新」でした。自公退場による民主党中心の新政権誕生を国民が選択した大きな政治の転換の反映でしょう。一九八〇年から始まる臨調改革とつづく、弱肉強食の新自由主義、構造改革、社会保障予算の削減、応益負担、自己責任論、福祉は準市場化へと変質されてきました。

しかし、「新」政権の誕生は一人筋の光明です。私たちが、多くの人々が手をにぎり、網を引けば現状を改善してゆく可能性がみえます。憲法25条の福祉国家の実現も、九条の実現も21世紀のうち、そんなに遠くはありませぬ。その意味で地域ぐるみの参加千人もの規模の「ふくろうふれ愛まつり」はとても意味深く、運動

入所者の勝楽佐代子さんが昨年末からご自分で干し柿を作っておられます。ふくろうの庭に実った小さな柿を居室のベランダに干して作ったのだそうです。入所者のみなさんも無事に新年を迎えることができました。今年も良い年でありますように。

的側面もしっかり認識したいものです。

さて、私事で恐縮ですが、昨秋、病を得、入院加療となりました。ここでの体験は多くの深い学びとなりました。心に残る教えを紹介して、私の決意とします。

「他の人々をケアすることをおして、他の人々に役立つことよって、その人は自身の生の真の意味を生きているのである。」

私たちは自己実現をはかるために他者の自己実現を助けようとするのではなく、他者の自己実現を助けることが、とりもなおさず、私たちの自己実現につながるのである。」

(ミルトン・メイヤーロフ)

「ケアの本質
〜 生きることの意味〜」

さらに共感力、洞察力、他者理解、受容力、判断力などを高め、経営力とともに人格を磨きたい。
今年もご支援、ご指導よろしくお願ひします。

(施設長：大矢 暹)



立派なおせち料理。
調理職員のみならず、
ありがとうございます！



弁天さんに初詣



▲みんな元気です！

中川原老人クラブ連合会・中川原地域交流会のみなさんには、年末のしめ縄作り&餅つき大会で今年も力強いご協力をいただきました。北岡肇さん・平野俊和さん・神代好孝さんは、今年も施設玄関用に立派な門松を作ってくださいました。

たくさんの方のみなさんのご支援のおかげで、今年も淡路ふくろうの郷は素晴らしいお正月を迎えることができました。ありがとうございます。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

しめなわもちつき



顔つきでバチコッソんにしてます。



▲見事な注連縄が完成！



▲ぜんざい、パ〜ク〜！
(入所者の中村正一さん撮影)



作業終了後、みんなで温かいぜんざいをいただきました▼



ご指導のみなさんが丁寧に



▲中川原小学校の生徒さん



これを使ってお菓子をいただきます。



ごいつもありがとうございます。

▲中川原地域交流会 会長 北岡肇さん
(正一さん撮影)



手作りのケーキ、おいしいね。



▲日々の業務に追われるサンタヤギー

▼色とりどり。手作り料理



門松



←門松にはいろんな決まりがあるのです。三人で話し合い中。

Happy! Christmas



▲入所者さんも職員も「どれにしようかな〜」

立派な一对の門松が完成！



- 井戸清廣 (宿直)
- 裏井哲章 (相談)
- 経免いづみ (介護)
- 坂本千尋 (調理)
- 素川光子 (調理)
- 東田学 (介護)
- 三谷信之 (介護)
- 八木正子 (医務)
- 山西龍 (介護)



- 海津維久男 (75)
- 志田喜代松 (83)
- 芝田カヨ子 (64)
- 谷妙子 (77)
- 辻徳枝 (88)
- 新居文男 (61)
- 藤田竹志 (83)



一月生まれ



- 谷村正雄 (83)
- 坂口きぬ糸 (95)
- 花房ふさ子 (83)

今年もいろんなことをがんばりタイガ〜！



寅年生まれ

部署紹介⑦

月川ユニット



▲入所者さんの手作り作品を手に記念撮影

月川ユニットの入所者は、ろうあ者がほとんどであり、健聴者1名、難聴者2名が一緒に過ごされています。

コミュニケーションはほとんどが手話ですが、未就学で手話を知らない入所者もいます。

体調の変化などに伴い、援助の内容が変化してきている方もいらっしゃいます。が、お一人お一人の生活を大切に、これからもふくろうでゆったりと生活を送っていただけたらと思います。私たちも頑張りたいと思います。

月川ユニットリーダー
・・足立

愛知県「眺海園」へ行ってきました

今年の7月に愛知県の社会福祉法人不二福社会の理事長青山氏がふくろうの郷に見学に来られたことがきっかけで、12月に同法人が経営する特養五井眺海園(蒲郡市)から招待を受け、入所者7名、職員3名で泊二日の旅行に行ってきました。日間賀島のふくろくしの食事や蒲郡市内の観光



蒲郡で見る朝日



▲眺海園理事長兼施設長の青山さんを囲んで。(前列右から二人目)

光で入所者は沢山の楽しい思い出を作りました。職員はふくろうと同じユニット型施設の見学で大いに学びを得ることができました。

青山理事長を始め、職員の方々に2日間大変お世話になりました。ありがとうございました。

(事務長・八木)

星海ユニット



▲入所者さんも写真に入ってくれました～☆

ろう者18名、健聴者2名、計20名のユニットです。

健聴者は手話ではお話しできませんが、何か通じる面があり、みなさん、お互いに協力されながら生活されています。

個人個人の生活を支えていけるように職員も協力しながら支援していきたいと思ひます。

星海ユニットリーダー・・酒井

リレーエッセイ

評議員・・嘉田真典

この4年間、私たち障害者を苦しめてきた障害者自立支援法がようやく廃止へ進もうとしています。

昨年10月30日に「さよなら！障害者自立支援法、つくろう！私たちの新法を！」10・30全国大フォーラムは1万人以上の当事者や関係者が詰めかけ、長妻昭厚生労働大臣から「障害者自立支援法は廃止にする」「新法は障害者の皆さんと一緒に作っていく」とを約束させました。

早速、政府は12月に「障がい者制度改革推進本部」を設置しました。今後、会議への当事者団体代表の参画と障害者自立支援法に代わる新しい制度を作る動きとそれに呼応して全国の障害者団体や関係団体も「私たち抜きに制度を決めていかないで！」とさらに運動が盛り上がりつつあることでしょうか。

見落としてはいけないことは、国の制度にはまだまだ問題があること。高

齢聴覚障害者の暮らしを支えるための「介護保険法」をはじめ国の動向を注視する必要があります。

現在の介護保険法は2008年に大改悪してから介護認定がさらに厳しくなり、本来ならば要介護であるはずが、要支援の判定をされてしまい介護サービスの利用制限が課せられます。高齢聴覚障害者がふくろうの郷に入所したくても制度の壁があり難しくなっています。

また、施設や事業所側も介護報酬の低下等、経営面で苦戦しています。このように介護保険法をはじめ、国の社会保障のあり方には問題点が多いです。ふくろうの郷の日々の実践から共に学びながら、聴覚障害者にかかわるすべての制度を変えていくような広い視野で運動を続けていきたいと思ひます。



▲ 08年3月1日 三宮東遊園地にて耳の日アピール集会の様子

地域を語る

第13回

先山千光寺縁起の由来

岡本宜照 住職

略縁起によれば、当山は天地開闢のはじめ、第一に成り出でし山である。ことから先山と号する。ときに、延喜元年、播磨の国上野(宍粟郡波賀町)の深山に笹を負うた大猪が出没していた。藤原豊広(藤原鎌足の末孫)通称狩人忠太なるもの、ある日、山中に入り、その猪を射たところ、猪は矢を負いながら、机の海、鹿の瀬(北淡の海岸)を渡って、遂に当山に逃げ込んだ。これを追ってきた忠太が、山頂の大杉の洞の中に追いつめたところ、不思議や、千手千眼観世音菩薩光明嚇嚇として現出したまい、かの矢がその御胸に刺さっていった。忠太は驚愕、大いに発心して、直ちに名を寂忍と改め出家し、更に、ときに醍醐天皇に奏聞し、かの菩薩を本尊とする七堂伽藍を建立したのである。



▲淡路島第一番霊場 先山千光寺

もとより当時のものは、全て現存していない。改築、増築を重ねて今日に至っている。さて、付け加えたいことがある。人間は、いや、生きとし生けるものは、みな他者の生命の犠牲の上で成り立っている。我々は生かされているのである。しからば、狩人忠太は、単に過去の行為を悔いたのではなく、自分が生かされているとの自覚が、ひるがえって、他者を深く思いやる基となる世界に思いを馳せ、その人づくりを目指して、千光寺建立を發願したのではなからうか。

第7回ふくろう学習会のお知らせ

人形劇団 **善岡 修氏**
デフ・パペットシアター・ひとみ



みなさんは覚えていますか？
H20年8月30日、南あわじ市で行われた「はこ／BOXES～じいちゃんのオルゴール～」公演。
左端が善岡さん。

今回の学習会はワークショップです。コミュニケーションの大切さ、手話という言葉の魅力を善岡さんが私たちに楽しく伝えてくれます。

場所は淡路ふくろうの郷・地域交流スペース。
みなさんのたくさんのご参加をお待ちしています！

手話で遊ぼうワークショップ

◆開催日時◆ ◆参加費◆ 500円
1月24日(日) 13:30 ~ 15:30

**ふくろう
喫茶
お知らせ**
1月23日(土)
13:00~15:00

ふくろう喫茶で淡路ふくろうの郷の入所者さんと楽しい時間を過ごしませんか。

- ・コーヒー・ココア・紅茶
 - ・カルピス などなど
- ¥200 より



訓練の様子
防炎委員が
チエック。

避難訓練

淡路ふくろうの郷では年に4回、避難訓練を行っています。今回は夜間設定で行いました。日々の訓練の積み重ねが、もしもの時の行動につながります。職員も真剣です。マッチ一本 火事の元！



地球に優しく

12月の手芸講座は「新聞紙カバン」を作りました。用意する物は新聞・はさみ・のりだけです。すてきなカバンが簡単に作れますよ。これぞエコバックですね☆

手芸講座ボランティア募集

1月19日(火) 10:00 ~ 11:30

みなさんも一緒に作業しませんか？
協力してくださるボランティアさんを募集しています。ご興味のある方、淡路ふくろうの郷までお気軽にご連絡ください。

※19日は「ガーゼマスク」、「フリース素材のひざ掛け」、「新聞かばん」の内のどれかを作る予定です。